

## ■ 第31回 多摩川流域セミナー

「多摩川につながる野川を歩こう」～湧水！崖線！豊かな自然～

主催：多摩川流域懇談会

今回の多摩川流域セミナーは、支川「野川」がテーマです。多摩川流域の支川の中でも、野川は市民による活動が盛んな川です。湧水の保全活動や、水辺の整備への参加など、野川に集う市民の活動について学び、有意義な意見交換のできる会にしたいと思います。



### ● 日時

・・・平成21年6月20日(土) 9:30～14:45(予定)

### ● プログラム

◇ 9:45 武蔵小金井駅出発

#### 【現地見学ルート】

武蔵小金井駅(スタート) ⇒ 丸山橋(小金井市中町) ⇒ 武蔵野公園内 ⇒ 野川公園内 ⇒ 清水橋(三鷹市大沢) ⇒ ボーイスカウト日本連盟会館(ゴール)

◇ 11:50 昼食 野川公園わき水広場周辺にて

※ 雨天時はボーイスカウト日本連盟会館にて昼食となります。

◇ 13:30 フリートーク

一緒に現地を歩いた感想を話し合しましょう！

◇ 14:45 終了予定

※ 終了後は現地解散となります。お帰りの際は、路線バスをご利用ください。

### ● 問い合わせ先

・・・多摩川流域懇談会事務局 NPO法人多摩川エコミュージアム

TEL.FAX.044-922-1025  <http://www.seseragikan.com>  [npo@seseragikan.com](mailto:npo@seseragikan.com)

## ■ 第31回 多摩川流域セミナー 開催報告

「多摩川につながる野川を歩こう」～湧水！崖線！豊かな自然～

主催：多摩川流域懇談会

2009年(平成21年)6月20日(土)、多摩川流域懇談会が主催による第31回多摩川流域セミナーを、多摩川に注ぐ支川のひとつ、野川において開催しました。

『「多摩川につながる野川を歩こう」～湧水！崖線！豊かな自然～』と題した今回のセミナーでは、市民による活動が盛んな川において、どのように湧水の保全や河川整備への参加しているのかを学び、野川を観察後のフリートークでは参加者のみなさんと意見交換を行いました。



### 1. 武蔵小金井駅に集合・開会のあいさつ

午前9時30分、今回の出発点となるJR中央線・武蔵小金井駅の南口駅前ロータリーに集合。梅雨の晴れ間で天候にも恵まれ、参加者・スタッフ総勢62名の方々が集まりました。TBネットの中村文明さんからの開会あいさつ、コースを歩く上での注意点等の説明の後、3班に分かれて順番に野川公園に向けて出発です。



### 2. 「はけの道」を散策

小金井駅から野川沿川にかけては高低差15m程の国分寺崖線(はけ)が東西に延びており、崖線の下からは豊かな地下水が湧き出ています。これらの湧き水は昔、「黄金井」と呼ばれ、小金井の地名の由来とも言われているそうです。

崖線に沿った場所は「はけの道」として緑地保全・自然環境の創出が行われています。地元で活動されている堀井さん、藤崎さん、孤嶋さんの案内で、崖線周辺の湧き水が流れる場所をいくつか見学しました。



### 3. 谷口邸を見学

谷口邸には崖地のケヤキやクヌギの林があり、その崖のケヤキの根元から清らかな湧き水が流れていています。立派な樹木と湧き水を見ていると、都内の住宅街に在ることを忘れてしまいます。湧き水を含めた林地の一部は東京都が買収し、小金井市も保全の方向を明らかにしているそうです。



谷口邸の湧き水



はけの森緑地

### 4. 野川に合流

はけの道をあとにして、野川へ向かいます。着いたところは、新前橋という橋が架かる場所で、橋の下流には野川が増水したときのための分水路の合流点があります。この分水路はかつての蛇行していた流路を利用して作られています。

ここから、途中の武蔵野公園、野川公園を通り、野川の下流に向かって歩きます。



### 5. 野川にある第一調節池

武蔵野公園を流れる野川左岸部には増水時に一時的に水を溜める調節池が整備されています。普段は球技場として開放されており、セミナー当日は少年野球の子どもたちの歓声が響いていました。



説明する孤嶋さん



第一調節池

## 6. 自然再生事業の解説

この公園付近では、市民と行政により野川や湧水を利用して田んぼや湿地を整備したり、水のある自然環境を再生する取り組みがされています。

野川では、川の水が流れない「瀬切れ」の状態がたびたび起こり、このまま放置しておくとな身近な自然環境が衰退する恐れがありました。そこで、自然環境の改善と人々の自然とのふれあいの場を再生するために、自然再生事業の取り組みが行われています。



植生の実験では、ロープで囲って人が立ち入れないようにした場所と、立ち入りの制限をしていない場所で、どのような植生の違いがあるかを調査しているそうです。また、自然再生事業の1つとして第一調節池の越流堤を緑化していました。



植生実験



越流堤の緑化

調節池にある田んぼの田植えは、自然再生協議会の田んぼ部会で、2週間前に行ったそうです。害虫を一匹ずつ手で取り除いたりなど、大切に稲を育てているお話を伺いました。

田んぼの先にある「どじょう池」は、小金井の市民の方と東京都の方が手掘りで作った池で、ビオトープの会が毎月メンテナンスをしているそうです。



公園内の田んぼ



どじょう池

## 7. 野川公園を散策

かつては国際基督教大学のゴルフ場だった野川公園の中では、大きくて立派な木立の間を野川が流れる、とても気持ちのいい環境でした。

野川の横には、ほたる川という小さな小川が作られています。ほたる川の生物観察会の中で、いろいろな人が楽しめるように作られた「野川ルール」の説明もおこなわれています。



野川公園内を散策



ほたる川

公園の森には湧き水が流れでる場所もあり、湧き水広場や野川では沢山の子供達が水遊びをしていました。ここで私達も昼食をとりました。



湧き水の小川で遊ぶ子ども達



湧き水広場で昼食

## 8. 野川公園からフリートーク会場へ向けて

昼食後は近くの自然観察センターを自由見学した後、紫陽花がきれいに咲き誇る野川沿いの道をフリートークの会場へ向けて歩きました。



野川沿いに咲くアジサイ



ホタルの里近くの水田

途中、野川の横にある武蔵野(野川流域)の水車経営農家に立ち寄り、東京都の指定文化財になっている古民家や水車装置を見学しました。他にも、蛍の里にある湧水を利用したワサビ田と水田を見ながら川沿いを歩きました。



水車経営農家



水車を動力とした搗き臼

通常はテニスコートとして利用されてる野川大沢調節池は、大雨になると一時的に川の水を貯留して野川の水位を下げる役割を果たしています。最近増加している集中豪雨に効果的というお話でした。



野川大沢調節池



野川からの流入口

## 9. ボーイスカウト会館に到着

13時45分、本日のフリートーク会場になるボーイスカウト会館に到着。フリートークが始まるまでの休憩時間を利用して、参加者のみなさんに質問・意見・提案カードの記入をお願いいたしましたところ、十数名の方々からご協力を頂きました。

下記に頂いたご意見から、その一部をご紹介します。



- 市民の野川に対する関心、興味と計画性・実行力に驚いた。初めて野川に来たのですが、豊かな自然と東京都民が深く結ぶつき、良い関係が築けていると感じた。水と緑と人のサイクル機能が発達し、循環しているめずらしい川と感じた。
- たまたま朝日新聞を見て、初めてこのような会に出席させていただきました。普段から「歴史を歩く会」という会に出席し、月一度街道歩き等をしておりますのに、自分の住んでいる地域(三鷹)のあたりは、井の頭公園、野川公園、小金井公園、神城植物公園など、家族で遊び

に行く所で、その成り立ち等よく知りませんでした。今回「歩こう会」に参加させていただき、その歴史、公共交通機関と民間のボランティアの方達の努力のおかげで、この自然が守られていることに感激いたしました。本当にたくさんの方達のおかげで今回もとても楽しく、自然に親しみ、勉強させていただきました。ありがとうございました。

## 10. フリートーク

朝から歩いてきた野川の様子を撮影した写真をスクリーンに写しながら、意見カードのご意見をもとに、フリートークを行いました。コーディネーターは野川流域協議会の座長されています神谷さんです。いつも神田川の水源である井の頭公園の清掃をしている方から、市民と行政のパートナーシップを築く難しさをお話しいただいたり、源流大学がきっかけで参加した学生の方に、意見を発表して頂いたりしました。



## 11. 閉会のことば

最後に、京浜河川事務所の鈴木事務所長から、「野川のすばらしさを見学できてよかった。川には流域の人々の川に対する考え方が出てくると思う。行政とともに市民の努力が実った川だと感じた。行政と市民とが共に川を考える原点を示してもらった1日だった」とあいさつがあり、第31回多摩川流域セミナーは幕を閉じました。



## 第31回多摩川流域セミナー『多摩川につながる野川を歩こう』～湧水！崖線！豊かな自然～

No.	分類	質問・意見・提案	京浜河川事務所の考え方
1	感想	市民の野川に対する関心、興味と計画性、実行力に驚いた。初めて野川に来たのですが、豊かな自然と東京都民が深く結びつき、良い関係が築けていると感じた。水と緑と人のリサイクル機能が発達し、循環しているめずらしい川と感じた。	貴重なご意見ありがとうございます。
2	感想 意見	野川がどのような経緯を経て現在の様な素晴らしい環境になったのか、近くに住んで興味はありましたが、詳しく説明して下さりスタッフの気配りに感謝しております。出来れば野川の源流を探访する企画をお願いしたいです。	貴重なご意見ありがとうございます。 今後も、多摩川流域セミナーでは、現地調査などを通じた情報の共有、意見交換を進めてまいります。
3	感想	野川のことは知っているつもりでしたが、まだまだ知らないことだらけなことに気づきました。再発見も沢山あり、良い汗をかいた1日となりました。又、野川に対する地域の方々の熱い思いを知ることができました。豊かな自然を残していくことの大事をより強く感じました。	貴重なご意見ありがとうございます。
4	感想 意見	野川の水がとてきれいだっただけで、おどろきました。野川に関わらず河川を整備することは大変だと思います。一人一人の意見を尊重するのも大切ですが、河川と人間、同じ生き物同士として共存することを望みます。	貴重なご意見ありがとうございます。 京浜河川事務所としても、多摩川の河川整備においては、寄せられる地域の方の声だけでなく、河川環境の共存を目指して取り組んでまいります。
5	感想	皆様方々のご案内で、今迄に歩いていないところや、知らないところに行くことができ、野川流域の一端を知り、感謝しております。子ども達が自由に魚をとることも制限しないとの事、けっこうなことで、大人になっても良い思い出となるでしょう。	貴重なご意見ありがとうございます。
6	感想	先ず、企画して御案内下さったスタッフの皆様へ感謝！東京の中によくぞこれだけ保存の良い自然が残されていた、というのが第一の感想です。小金井市民の皆様熱心な働きかけと、息の長い支援が、この様な素晴らしい宝物を残せたと思います。私は、武蔵野市で、井の頭から流れる神田川の見守りと、川の掃除を27年続けていますが、行政との戦いの空しさなど、よく知っています。今日は実りのある一日を有難うございました。	貴重なご意見ありがとうございます。
7	感想	いつもは電車の中から一瞬見るだけの野川を初めて歩いた。日本の川はコンクリート壁というイメージが強かったが、野川の植生など見て吃驚した。10年前ヨーロッパ(スイス・ドイツ)の河川を歩いてまわったが、その時と同じような様子だった。これを機会にいろんな川を歩いてみようと思う。川の水が思ったよりきれいだった。	貴重なご意見ありがとうございます。
8	感想 質問	東京にこんなに素晴らしい緑があったと知って感激しました。よく整備もされていると思います。今日歩いた区間より上流域、源流部、今日歩いた区間より下流域も今日のようにきれいに整備されているのでしょうか？治水や河川環境上の課題はありませんか？	貴重なご意見ありがとうございます。 川幅や深さなど断面の大きさは区間により異なりますが、基本的には今日歩いた区間と同じイメージ、例えば川の中を歩けるですとか緑豊かな河川環境の確保を目指して整備をすすめているとのことです。
9	感想 質問	以前一人でこの近辺を歩いたことがありますが、今回は詳しい説明をお聞きしたので、よく理解することができました。かなり自然が維持されていますが、これは長年の住民の皆様のご努力の賜物であるということが、今回よくわかりました。ありがとうございました。 <質問> ・下水道の流入はありますか？今回歩いたあたりも瀬切れはありますか？あればどのような対策をとっていますか？	貴重なご意見ありがとうございます。 瀬切れは今日歩いた区間でも発生します。頻度としては2～3年に1度、雨の少ない年の春先に起こることが多いです。都では、瀬切れ対策として河床に不透水層を設置するとともに流域区市や住民と連携・協力して平常時水量の確保に努めているとのことです。
10	感想	たまたま朝日新聞を見て、初めてこのような会に出席させていただきました。普段から「歴史を歩く会」という会に出席し、月一度街道歩き等をしておりますのに、自分の住んでいる地域(三鷹)のあたりは、井の頭公園、野川公園、小金井公園、神城植物公園など、家族で遊びに行く所で、その成り立ち等よく知りませんでした。今回「歩こう会」に参加させていただき、その歴史、公共交通機関と民間のボランティアの方達の努力のおかげで、この自然が守られていることに感激いたしました。本当にたくさんの方達のおかげで今回もとても楽しく、自然に親しみ、勉強させていただきました。ありがとうございました。	貴重なご意見ありがとうございます。
11	感想 質問	野川を始めて歩いたのですが、まだ自然が沢山残されているので未代まで残すことが必要であると感じました。是非この活動を活性化してゆくののが我々の使命だと痛感しました。 <質問> 現在の水量は一時より多量に流れていると思いますが、どこから水を引き入れているのですか？	貴重なご意見ありがとうございます。 湧水地の保護や雨水流出抑制施設による地下水涵養など流域区市や住民と連携して平常時の流量確保に努めておりますが、特に新たな導水等は行っていないとのことです。
12	感想	「はげの道」という自然が残した遺産を残していきたいという野川流域の皆さんの永年の努力が息づいている実地を拝見して、感銘を受けました。 多摩川流域を一体とした「多摩川流域懇談会」の活動を実りあるものとしていただきたい。	貴重なご意見ありがとうございます。